

## 平成 22 年事業報告

### I 事業の状況

#### 1、写真に関する芸術・創作活動の奨励、人材の育成

##### (1) 写真教育

- 小学生を対象とした「写真学習プログラム」を全国の小学校 50校で平成22年4月～平成23年3月にかけて実施した。指導者 30名、参加児童数 1,571名。(6年間の合計 325校13,568名)。富士フイルム(株)の協力で行った。
- 「エコトークフォトコンテスト」を都近郊の9つの小学校で実施した。参加児童 271名の作品を選考し、8月に長野県のNPO法人が実施している山の家で親子の体験実習を行った。クラレトレーディング(株)の協賛。
- 第4回高校写真部顧問を対象とした「デジタル写真講座」を、全国高等学校文化連盟写真専門部との共催で、8月に2カ所で行った。(株)ニコンイメージングジャパンとエプソン販売(株)の協力で行った。

日時	場所	講師	受講者
8月6日(金)	栃木県立栃木工業高等学校	熊切圭介、管洋志、越信行、野上裕之	教師11名
8月20日(金)	熊本県立第一高等学校	松本徳彦、足立寛、清島靖彦、水野ヒロシ	教師17名

##### (2) 技術研究会

開催名	場所	日時	参加数
第1回(関西1回)「写真家向け画像処理ソフトウェアの活用」講師・館岡景子((株)ジャングル)、塩谷真((株)モステンダー)、椎野圭子((株)ソフトウェア・ツアー)	大阪・愛日会館2F イベントホール	4月23日(金)	50名
第2回「ペンタックス645D、Eye-Fiカード」講師・前川泰之(HOYA(株)PENTAX イメージング・システム事業部)、田中大祐(アイファインジャパン(株))	JCIIビル6F会議室	6月23日(水)	55名
第3回(関西2回)「ペンタックス645D技術研究会」講師・前川泰之(HOYA(株)PENTAX イメージング・システム事業部)	大阪・愛日会館2F イベントホール	7月23日(金)	34名
第4回「Photoshopのエッセンス」講師・鹿野宏((株)Lab エル・エー・ビー)	JCIIビル6F会議室	10月27日(水)	105名
第5回(関西3回)「Adobe Photoshop を使いこなす-Photoshop CS5の新機能-」講師・栃谷宗央(アドビシステムズ(株))	大阪・愛日会館2F イベントホール	11月26日(金)	48名
第6回「川田喜久治が語るオリジナルプリントの世界」講師・川田喜久治(写真家)	JCIIビル6F会議室	3月30日(水)	68名

##### (3) 見学会

- ラボ見学会「最新のデジタルラボ環境を学ぶ」を4月20日(火)、21日(水)、エプソンイメージングギャラリーepSITEで行った。参加者20日30名・21日26名、合計56名。
- JPS 会員のための特別企画「エプソン大型プリント プライベートレッスン」をエプソンイメージングギャラリー epSITE(新宿)にて、10月5日(火)・12日(火)のそれぞれ11時、15時からの2回に分けて、限定7名で行った。

#### 2、写真の歴史、表現に関する展覧会の開催

- 「第35回 2010JPS 展」を東京、名古屋、京都、広島で開催した。後援：文化庁  
 公募作品受付：1月6日(水)～20日(水) 作品審査：2月6日(土)  
 審査員：田沼武能(審査員長)、前田利昭(『日本カメラ』編集長)、織作峰子、齋藤康一、坂

田栄一郎

応募総数：2,195名 7,058枚（一般部門：2,089名 6,830枚、20歳以下部門：106名 228枚）

総展示数：333名19校 762枚、後援：文化庁ほか

入賞・入選者数：一般部門：268名 461枚（文部科学大臣賞1名、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、奨励賞5名、優秀賞32名、入選224名）20歳以下部門：15名32枚（最優秀賞1名、優秀賞4名、入選10名）

会員テーマ：「プロフェッショナルの世界」会員出展数：50名（5枚組写真）250枚

イベントコーナー：「ヤングアイ」参加校19校。総入場者数：9,283名。

2010JPS展副賞提供社：49社

入場料（各展共通）：一般700円（団体割引560円）、学生400円（団体割引320円、高校生以下無料、65歳以上400円（東京、広島）65歳以上無料（名古屋、関西展）※団体は20名以上

開催名	会場	日時	参加数	
◆東京展 （後援：文化庁、共催：東京都写真美術館） 表彰式 講演会「くりかえす」講師：土田ヒロミ 受賞パーティー イベント：撮影会「瞬・ひとを撮る」講師：ハナブサ・リュウ 協力：（株）ニコイイメージング ジャパン、エプソン販売（株）、サンディスク（株）、コメント（株） セミナー「スライドトークショー・旅と写真」講師：小林紀晴 レクチャー「風景写真お悩み相談室」講師：秦達夫 協力：（株）スタート・ラボ フロアレクチャー：2回、講師：熊谷正、講師・島田聡	東京都写真美術館 B1展示室 東京都写真美術館 ホール ビアステーション 恵比寿 恵比寿ガーデンプレイス、アトリエ 東京都写真美術館 アトリエ "	5月22日(土) ～6月6日 (日) 5月22日(土)1 時 " 3時 " 5時 5月23日(日)  6月3日(木) 6月5日(土)  5月28日、6月 4日	4,207名  190 名 131 名 165 名 38名  48名 30名  32名	
	◆名古屋展（後援：文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会） 表彰式・講評：熊切圭介 講演会「写真家が語る 最近の写真事情」 講師：中部地区写真家7名	愛知県美術館展示ギャラリーE・F 愛知県芸術文化センター12階A室	7月6日(火) ～11日(日) 7月10日(土)	1,533名  168 名
	◆関西展（後援：文化庁、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会） 表彰式・講評：田沼武能 講演会：「地を駆けた30年—写真で伝えるということ」講師：長倉洋海	京都市美術館別館 京都市国際交流会館イベントホール	7月27日(火) ～8月1日 (日) 8月1日(日)	1,938名  148 名
	◆広島展（後援：文化庁、広島県、広島市、広島市教育委員会） 表彰式：講評：松本徳彦 特別講演：「スナップ撮影とフォトコンテストへの応募を…」講師：松本徳彦 講演会：「美しい自然に魅せられて」講師：米美知子 イベント：講習会「ペンタックス645技術研究会」 協力：HOYA(株)PENTAX イメージング・システム事業部 講演会「写真の保存の必要について」講師：松本	広島県立美術館県民ギャラリー 広島県立美術館地下1階講堂 " " " " "	8月31日(火) ～9月5日 (日) 9月5日 (日) 1時半 " 2時 " 3時 9月3日(金) 1時半 9月4日(土) 2時半	1,605名  168 名  35名 47名

徳彦 協力：(株)スタート・ラボ			
(2) 「2010年新入会員展—私の仕事」を開催した。			
会期	場所	入場数	備考
7月15日(木)～21日(水) 7月15日(木) 18:00～	アイデムフォトギャラリー「シリウス」 " オープニングパーティー	528名	展示48名96点 参加者 119名
7月30日(金)～8月5日(木)	富士フィルムフォトサロン大阪	3,031名	

### 3、写真に関する著作権の啓蒙・普及活動

(1) 著作権に関する研究会、セミナーを開催した。

開催名	会場	日時	参加数
第1回「閲覧端末」の登場と写真著作権 講師：北村行夫弁護士	JCIIビル6F会議室	7月28日(水)	105名
第2回「電子出版の時代」著作者の未来はどこに？ ～電子書籍を取り巻く環境と雑誌協会ガイドラインについて～ 講師：高田正行((株)ヤフー)、瀬尾太一(JPCA常務理事)	JCIIビル6F会議室	1月26日(水)	101名
第3回(広島会場)「写真著作権と肖像権」 講師：北村行夫弁護士、下川高広、山口勝廣	広島市・西区民文化センター3F	2月10日(木)	56名
PAGE 2011オープンイベント・JPSセミナー「電子書籍の時代 クリエイターの未来はどこに？」 講師・梶原治樹((株)扶桑社)、瀬尾太一(JPCA常務理事)	池袋サンシャインシティ文化会館7F	2月2日(水)	100名

(2) 「フォトコンテスト応募要項における著作権」について二次継続調査をした。

(3) 三団体(日本雑誌協会、日本文藝家協会、日本写真著作権協会)が合意したデジタル配信「権利処理ガイドライン」(2010年11月29日)について日本写真著作権協会(JPCA)に協力した。

(4) 著作権よろず相談室 毎月第3水曜日開催。相談数19件。

### 4、写真に関する優れた技術開発、表現活動に対する顕彰

(1) 第36回「日本写真家協会賞」を、株式会社タムロンに贈呈した。贈呈式は 12月8日(水)アルカディア市ヶ谷で行った。

贈呈理由： 1950年創業以来、精密光学メーカーとして発展し、小型軽量、高性能レンズをリーズナブルな価格で世界市場に供給されてきました。技術水準の高さと安定性が多くの写真家に評価され、写真文化発展に寄与されてきた功績に対して

(2) 「2010JPS展」入賞・入選者 286名を5月22日(土)、東京都写真美術館ホールで表彰した。

(3) 新進写真家の発掘と活動を奨励するために、主としてドキュメンタリー分野で活躍している30歳までの写真家を対象とした第6回「名取洋之助写真賞」は、公募7月1日(木)～8月20日(金)、応募者43名43作品。8月30日、鎌田慧、大島洋、田沼武能の3氏によって選考を行い、名取賞にトム宮川コールドン「オーガニック アメリカンズ」(カラー 30枚)を、奨励賞に中塩正樹「奈良の祭り人 極上の刻」(カラー 30枚)を選び、授賞式を12月8日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。

(4) 第6回「名取洋之助写真賞受賞作品展」を開催した。

会期	場所	入場数
1月28日(金)～2月3日(木)	東京・富士フィルムフォトサロン東京	6,749名
2月25日(金)～3月3日(木)	大阪・富士フィルムフォトサロン大阪	3,007名
3月12日(土)～21日(月)	福島・福島市写真美術館(3.11東日本大地震による休館で開催中止)	

### 5、写真に関する図書、機関誌等の編集刊行

(1) 『日本写真家協会会報』を発行。年3回(No.144～146)

- (2) 『JPS ニュース』を発行。年11回 (No. 474～ 484、総会資料)
- (3) 『2010JPS 展作品集』の発行。(5月)
- (4) 『会員名簿2010～2011』の増補版の発行(会員証製作費含む)(6月)

## 6、写真に関する国際交流

### (1) 国際交流セミナー、研究会の開催

開催名	場所	日時	参加数
第1回「南川三治郎のヨーロッパで出会った人物、そして風景」講師・南川三治郎	JCIIビル6F会議室	9月22日 (水)	55名
第2回「紙媒体に代わる新世紀メディア—新聞・雑誌が死ぬ前に—」講師・小林弘人(デジタルメディア事業家)	JCIIビル6F会議室	11月24日 (水)	90名
第3回「写真家エバレット ブラウンが語る! 「文化の源流を探る」講師:エバレット ブラウン	JCIIビル6F会議室	2月23日 (水)	68名

- (2) 来日した海外写真家との交流:タイの写真家、マニット・シーワニットプーム、ダーオ・ワーシクシリ、ウオラナン・チャッチャワンティパーコン、ガムトーン・パオワッタナースックの4氏が5月26日、協会を訪問し役員と懇談した。また、7月27日イラクの写真家ファード・シャーキル氏の表敬訪問があった。

## 7、その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 第4回フォトフォーラム「行動する写真家—3人」を10月2日(土)、有楽町・朝日ホールで開催(共催・朝日新聞出版、後援・文化庁)。11:00～協賛9社による最新機材技術展:13:00～講演・パネルディスカッション。パネリスト:野町和嘉、水越 武、田沼武能、司会・奥田明久(『アサヒカメラ』編集長)。協賛:エプソン販売(株)、オリンパスイメージング(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)シグマ、(株)タムロン、(株)ニコンイメージングジャパン、富士フイルム(株)、HOYA(株)PENTAX イメージング・システム 事業部、(株)リコー。参加者506名。
- (2) ホームページ、インターネットを利用したサービス業務を実施。
- (3) ネガカバー、ファイル、トートバッグなど写真整理用品の製作及び販売。
- (4) 相互祝賀会を12月8日(水)、アルカディア市ヶ谷で行った。参加者344名。

## 8、その他目的を達成するために必要な経費

その他目的を達成するために必要な経費を使用した。

## 9、創立60周年記念事業

- (1) 創立60周年記念写真展「おんな—立ち止まらない女性たち—」を東京、京都、横浜で開催した。

総展示数:145人211点

総合計入場者数:65日間27,283名

写真集販売合計:1,040冊(東京594冊、京都211冊、横浜235冊)

入場料:一般700円、学生・65歳以上400円(東京展)

一般700円、学生・65歳以上400円、高校生以下・70歳以上無料(京都展)

※ 横浜展は新聞博物館入館料・一般500円、65歳以上400円、高校生300円、小中学生以下無料

認定:社団法人企業メセナ協議会

特別協賛:富士フイルム(株)、キヤノンマーケティングジャパン(株)、(株)ニコン、(株)ニコンイメージングジャパン、オリンパスイメージング(株)、(株)リコー、エプソン販売(株)

協賛:清里フォトアートミュージアム、(株)栄光舎、(株)キタムラ、(株)シグマ、(株)写真弘社、(株)タムロン、凸版印刷(株)、(株)フレームマン、ベルボン(株)、光村印刷(株)

協力:(株)資生堂

開催名	会場	日時	参加数
◆東京展 (後援：文化庁、共催：東京都写真美術館) 講演会：「写真を読むー記録に残ったものしか記憶に残らないー」講師・佐野眞一(ノンフィクション作家) イベント：出展者サイン会(8回)・フロアレクチャー(4回)約640名	東京都写真美術館 B1F 展示室 東京都写真美術館ホール	8月14日(土) ～29日(日) 8月22日 (日)	10,350名  120名
◆京都展 (後援：文化庁) 講演会：「写真を読むー記録に残ったものしか記憶に残らないー」講師・佐野眞一(ノンフィクション作家)	京都市美術館別館第2 展示室 京都会館会議室	9月14日(火) ～26日(日) 9月19日 (日)	6,935名  194名
◆横浜展 (後援：文化庁、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、共催：朝日新聞社、日本新聞博物館) 講演会：「私のデビュー時代ー底辺に生きる女性を見つめて」講師・常盤とよ子 イベント：出展者サイン会(4回)・フロアレクチャー(2回)約130名	日本新聞博物館  新聞博物館ニュース パークシアター	11月13日(土) ～12月26日 (日) 11月23日 (火)	9,998名  110名

写真集：「おんなー立ち止まらない女性たち 1945-2010」を、日本写真家協会編、朝日新聞出版刊で8月30日発行した。定価2,940(税込)、B5判変形、モノクロカラー 212頁、145名211点の作品。

- (2) 創立60周年記念祝賀会を7月2日(金) ウェスティンホテル東京で催した。出席者536名。  
(3) 『60周年沿革史』を6月30日に発行した。

## 10、特別事業

- (1) 文化庁委嘱事業「我が国の写真フィルムの保存・活用に関する調査研究」  
文化庁委嘱事業「我が国の写真フィルムの保存・活用に関する調査研究」については、本年度は以下のような事業を実施した。  
平成19年以降4年間にわたって主に物故写真家の遺族の元を訪ねての写真原板の保存状況調査と海外の写真保存施設調査を行ってきた。22年度は遺族の元から写真原板を借り受けて、写真集等に使用されている写真原板の特定を行いデータベース化を図った。また、個々の原板の保存状態とスキャニングを行い「写真原板調査表」を作成した。大学院で写真保存等を習得したスタッフ4名で作業を行った。調査対象5人、約13,400本(含む齧枚)。諮問調査委員会議5回。  
写真原板の保管状況の調査、収集整理、データベース作業。原板のデジタル化、権利処理、利活用に関する調査、全国各地の美術館、博物館、資料館等とのネットによるデータベースの共有化等についても検討した。
- 1 本写真保存センター・写真展「ときを刻んだ写真ー保存が望まれるフィルム」を3月1日(火)～27日(日) JCIIフォトサロンで開催した。共催 JCIIフォトサロン、後援：文化庁。わが国の歴史的、文化的に貴重な「写真原板」(ネガフィルム等)を収集し保存・活用する「日本写真保存センター」設立に向けて、その主旨を広く広報するため17作家、56点の作品を展示した。  
また「シンポジウム なぜフィルムの保存が必要か」を3月5日(土) JCIIビル6階会議室、共催JCIIフォトサロンで開催した。講演者：金子隆一(東京都写真美術館専門調査委員)、高橋則英(日本大学芸術学部写真学科教授)、松本徳彦(JPS専務理事)。参加者120名。
- (2) その他の事業